

中部支社

NAGOYA

〒460-0013
名古屋市中区上前津1丁目4番12号
上前津グリーンビル
TEL (052) 331-3371 FAX (052) 331-3374

中日本ネット

東海・信

愛和鉄工、SBT認定取得

30年めどCO₂42%削減目指す



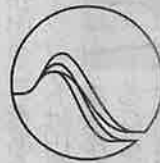
及部社長

中部地区の有力鉄筋加工業者、愛和鉄工(愛知県豊橋市、及部友也社長)はこのほど、2030年に向けた温室効果ガス(GHG)排出削減目標が国際的枠組みに整合するとして、SBT(Science Based Targets)認定イメー ジを取得した。22年度比で30年までにスコップ1、2の二酸化炭素排出量を42%削減する。住宅市場の高付加価値化に対応し、競争力強化につなげる。

太陽光発電やLED化

同社は国内大手ハウスメーカー向けを中心に住宅用ユニット鉄筋を供給している。主

の鉄筋ユニット「ミニニアムベース」は、交差部の溶接強度を高水準で確保し、鉄筋の引張りが強さや伸びも基準値以上を保持するAタイプ溶接(全強度鉄筋交差溶接)が可能。耐震性能の高度化ニーズに応え、シェアを広げている。



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

拠点は本社工場と近隣の西川工場で、10年ほど前に両工場へ太陽光発電設備を設置するなど、省エネと創エネに取り組んできた。さらに、23年4月には照明を全てLED化し、電力使用量の削減を図った。こうした取り組みを重ねる中、取引先の大手ハウスメーカーでも協力会社に対して取り組み状況の開示や

排出量算定を求める動きが高まり、同社としても体制の整備を検討。「脱炭素化への取り組みを競争力強化につなげる良い機会」と及部社長として、SBT認定の取得に踏み切った。

照明のLED化による排出量削減効果は、足元で約15%。30年までの目標達成に向け、今後はクリーン電力の活用や車両のエコカー化なども検討し、導入コストとのバランスを見極めながら排出量削減に取り組む。住宅着工の減少が続く中、「時代の変化に対応して選ばれる会社を目指す」と(同)と、排出量の見える化と削減を進める方針。